

(令和元年 9 月 3 日)

残暑の厳しい日が続きますが、田畑を渡る風には、秋の気配が感じられる季節となりました。

本日、令和元年山形村議会第 3 回定例会を招集いたしましたところ、議員の皆さまには、全員の出席を賜り誠にありがとうございます。

さて、本定例会に上程いたします案件は、平成 30 年度の一般会計などの決算の認定が 7 件、条例の一部改正が 5 件、消費税の税率の改正に伴う条例の一部改正が 7 件、一般会計などの 5 会計の補正予算など、25 の案件であります。

それぞれご審議を賜りますようお願い申し上げます。

続いて、行政報告を申し上げます。

始めに「工事の発注状況について」は、お手元に配布いたしました「工事の発注状況」をご覧ください、報告とさせていただきます。

次に、3 点について報告を申し上げます。

最初に小坂区の土砂災害特別警戒区域の指定と、それに伴う砂防堰堤の建設について概要を申し上げます。

本年の 6 月下旬に、長野県松本建設事務所から砂防堰堤の建設に関わる当村への説明がございました。

その後、7 月上旬には区・議会等の関係の皆さんへ事前説明が行なわれました。

8 月 9 日には警戒区域に居住する皆さんへの説明会が開催され、地元住民の皆さんから同意をいただき、現在は地権者の方との用地交渉などを進めております。

今後、砂防堰堤の規模など事業の詳細が具体化してまいりますので、村としましても、県松本建設事務所と連携しながら、事業を進めてまいります。

2 点目は、平成 29 年度まで市町村単位で運営しておりました国民健康保険であります、昨年度から長野県も責任主体の一つとなって財政運営をされています。

当村の昨年度の国保会計の詳細については、決算説明で申し上げますが、決算は黒字でございましたが、新たに自治体間の格差是正の為の納付金制度の新設や医療費が増加など、今後の税率の見直し等については、国民健康保険事業の運営に関する協議会で十分な検討をお願いしたいと考えております。

最後に 「ふるさと応援寄附金」について申し上げます。

8 月 22 日現在でのふるさと応援寄附金の寄付件数は 125 件、寄付額は 4,302,000 円であります。なかでも今年、新たに返礼品として指定した「すいか」の申し込みが多く、全体の 8 割弱の 97 件でありました。平成 30 年度の実績が 166 件の 5,680,000 円でありますので、残り 7 ヶ月と考えますと、昨年度を上回る寄付額となることが見込まれます。

また寄付者が希望する「寄附金の使い道」では、「農業や観光などの産業を振興する事業」が多く、次いで「子育て支援や教育を振興する事業」となっております。全国の数ある返礼品のなかで「山形村」を選んでいただいているということは、かなりの PR 効果がありますし、関係人口の増大にもつながっていると思います。

以上、主な事案についてご報告申し上げます。

議員各位には、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます、開会の挨拶といたします。